

サマリア 2026年の進化：知財業務の全工程をカバーするAIプラットフォームへ

2026年上半期

1月



権利化支援の深化とAI定量分析

応答方針コメント、意見書・補正書案作成機能。9種のプリセットによるAI定量分析搭載。

1月末～2月



外部エコシステムとの連携

「審査官ラボ」統計データ、および「root ipクラウド」API連携により管理と攻めの実務を統合。

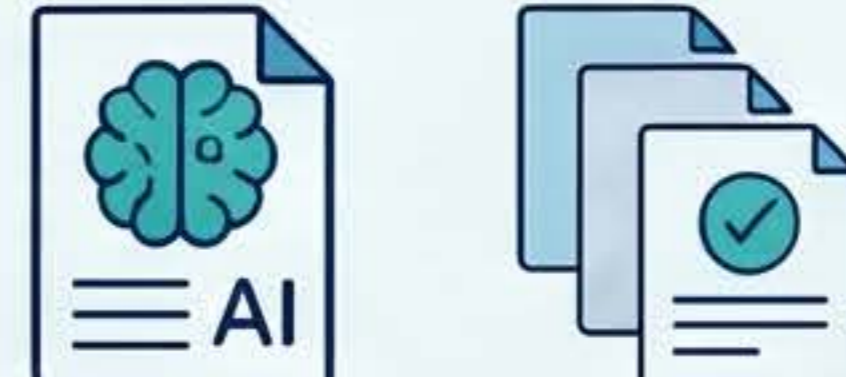
2月中旬



【業界初】特許無効化書面の作成支援

異議申立書、無効審判請求書などの素案作成サポート、5項目の記載要件違反チェック機能実装。

3月



サマリア史上最大級の明細書作成支援機能

段階的なドラフト生成、AIエージェント、50以上のルールチェック、機密性を保つシークレットモード搭載。

5月



SDI監視と発明提案書作成支援

検索式による定期監視（SDI）自動化、「脱動フレームワーク」を用いた発明提案書の論理チェック機能リリース。

知財業務を網羅する

6つの主要機能ピラー

拒絶対応の完結化
Word形式での注記付き意見修正書案の出力が可能、ワークフローを完結。

戦略的なデータ活用
審査官ごとの査定率を可視化する「審査官ラボ」と連携し、データに基づく応答検討を実現。

AIエージェントによる明細書構築
生成AI活用の特許に基づき、請求項から実施例までを段階的に構築。

SDI（定期監視）の自動化
検索式だけで対象集合の作成から自動監視まで完結、競合動内や侵害リスクを早期把握。



戦略的なデータ活用
審査官ごとの査定率を可視化する「審査官ラボ」と連携し、データに基づく応答検討を実現。

高度な無効化ロジック
カスタム・クレームチャートとS項目の記載要件違反チェックを組み合わせ、高精度な無効化書面を構成。

発明論出の構築
検索式・利活用の統計データを自動変案を適化し、データにお動内や侵害リスクを早期把握。

発明創出の論理チェック
失敗学の「試動フレームワーク」をAI実装、構成・機能・課題の論理矛盾を自動精査。

プラットフォームとしての到達点

導入企業数
130社超
(2025年末時点)

2026年も勢いを維持し、知財業務全プロセスのAI基盤プラットフォームとして普及。一貫通貫のAIワークフローにより、調査、分析、出願起案、明細書作成、拒絶・無効対応、監視の全工程を単一プラットフォームでカバー。